

2023年の重点テーマ3 デジタル化の推進

- I 行政手続きのデジタル化 ➤ キャッシュレス対応・行政手続きを、もっと便利に！
- II 行政サービスのデジタル化 ➤ デジタル技術で、もっと人に寄り添う区役所に！
- III デジタル人材の育成 ➤ 区民も職員も、もっとICTリテラシーを向上！

新・施設予約システム

I 行政手続きのデジタル化

70施設・194部屋の利用予約が可能な「施設予約システム」を一新します。予約時にオンライン（クレジットカード）決済ができる機能を追加し、利便性を向上させます（令和6年度予定）。あわせて、インボイス制度にも対応します。

令和6年4月から、オンライン決済（クレジットカード対応）を開始予定。



▲としま産業振興プラザIke-Biz



▲南長崎スポーツセンター

各種オンラインサービスの拡充

II 行政サービスのデジタル化

妊娠中から出産後も、手続きが便利になります。

ゆりかご面接（妊婦支援）

安心して出産を迎えていただくために、令和5年度中に長崎健康相談所でオンラインによる「ゆりかご面接」を試行的に開始します。今まで来所が難しく、対面による面接を諦めていた妊婦さんにも助産師や保健師による伴走型の相談支援を届けます。

一時保育利用予約のオンライン化

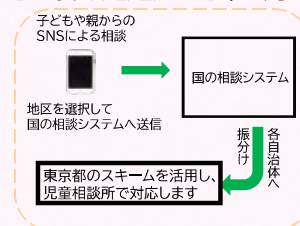
東・西子ども家庭支援センターで実施している一時保育の利用申込をオンライン化します。区が運用している母子手帳アプリ「母子モ」の「地域の子育て情報」から、ネットで申し込みができるようになります。

・24時間予約受付
(web予約は前日まで)

・母子手帳アプリ
「母子モ」内の、
このスペースに予約
ボタンを設置します

SNSによる相談受付

電話相談などに躊躇してしまう子どもや家庭において、SNSによる国の相談システムを活用します。このシステムを通じて寄せられた相談に対し、豊島区は東京都と連携し、地域の実情を把握する児童相談所が中心となり、迅速かつ確に対応します。





デジタルシニアの育成

Ⅲ デジタル人材の育成

高齢者のデジタルデバインド解消とQOLの向上に向けて、区民ひろば5施設でスマホ教室等を開催する「地域共生カフェ」の設置や、デジタル活用講座を開催し、高齢者のICT技術活用支援を行います。

地域共生カフェの設置

区民ひろば5施設（駒込、豊成、上池袋、池袋、椎名町）に「地域共生カフェ」を設置して、高齢者向けICT技術活用支援を行うことで、区民ひろばをICTリテラシー向上の拠点とします。



▲ 地域共生カフェイメージ



▲ スマホ講座

区民ひろばのサテライト化

左記5施設にオンライン会議システム「Zoom Rooms」を設置、その他区民ひろばにはタブレットを配置します。オンライン会議システムを利用することで、他の区民ひろばから参加者の受け入れが可能となり、各区民ひろばの連携を強化します。



その他「デジタルシニア育成」事業

- ・**フリーWi-Fiの設置** 全ての区民ひろば、千早・巣鴨地域文化創造館に設置。
- ・**オンライン講座の開催** スマートフォン・SNSの活用講座の開催やスマホの貸出、オンラインでのフレイル対策講座の開催。

寺子屋ICTプロジェクト

デジタル化の推進力となる若手職員を育成し、組織を強化するため、業務改善や実務上の課題などをテーマとして、民間IT企業から招いた講師が、デジタルの集中トレーニングを行います。最終的には、区長・副区長へデジタル化事業を提案し、実際に令和5年度に予算化された事業も出ています。



各年度20名程度の受講生が、現場の課題をデジタルで解決する策を模索



▲最終的には区長・副区長へ事業提案